

補正予算の要旨

大阪府教育庁が進めるGIGAスクール構想に関連し、金剛高等学校が「リーディングGIGAハイスクール」の「ビギナークラス」に指定されました。

指定に伴い、ホームルーム教室18室とモデル事業推進教室1室の計19教室に電子黒板機能付きプロジェクター及びプロジェクター投影対応黒板が導入される。

この機器を活用し、以下の研究等を令和5年度から令和7年度末まで実施予定。

- 生徒1人1台端末の日常的な活用促進や効果的な活用に向けた研究
- 遠隔地等にいる生徒に対するオンラインを活用した学びの保障のあり方にかかる研究
- 他校に対しての公開授業の開催、実践事例の提供等、積極的な成果の普及

一方、金剛高校はこれまで普通科総合選択制時からのノウハウを活かし、多彩な系・コースでの授業や少人数展開による授業など、特色のある多彩な授業が行われており、ホームルーム教室のみの機器整備では、HR教室とその他の選択教室等での授業等に格差が生じることが容易に想像される。

この格差の解消を図るべく、PTAと同窓会が様々な観点から幾度にわたり、議論・協議を重ねてきました。

この議論・協議の結果、PTAと同窓会が協力し、その他必要な教室にもホームルーム教室と同様の環境を整備していく方向で一致したため、今般、その整備にかかる費用について補正予算を提出したものの。

皆様方には、これまでの経緯及び金剛高校における学習環境の飛躍的な発展と共に、取り組まれる様々な研究等の成果が本校生徒に還元され、より質の高い学びの提供に通じてまいります。ぜひともご賢察たまわり、ご審議頂きますようお願い致します。

参考数値

- 公費による機器設置教室での授業時数の割合 78.2%
ご寄付による機器設置予定教室での授業時数の割合 14.9%
よって、合計 93.1%の教室に、電子黒板機能付きプロジェクター及びプロジェクター投影対応黒板を設置することができます。
- 南河内郡および富田林市内の中学生の減少率は、年平均 158.8 人です。
過去7年間の志願者の平均倍率が 1.16 倍と、高い人気をいただいております。
これは、7年前にご寄付いただいたプロジェクターにより、授業環境の整備が中学生や保護者に高評価いただいた結果です。